

↓5月20(金)、会堂掃除の後、花山修一さんと奥様さんをお家までお送りした折、安波山に行ってみま

2011年5月21日発行

教会通信

2011年度15号

広島平和キリスト



しょうと誘われました。気仙沼湾一望で。中央は、大島。地震で山の形が変わったそうです。津波来襲をここから撮ったビデオを見ました。



↑20日、向陽高校(以前は気仙沼水産高校)。4階建て。3階まで津波。↓潮吹き岩有名な 岬の横綱秀ノ山雷五郎の龕で。



いたでいてるみなさまに感謝しました。20日の午後は、大沢地区避難所に物資を届けに行きました。大沢地区災害対策本部と看板(←)。救援物資の分配をされておられました。ここは、気仙沼といってもかなり離れたところで、南三陸町との中間ぐらいでしょうか。地震後は、この地区の人が、物資を渡すことを始めました。たくさんの方が親戚、知り合いを頼りに、集まってきた。人数は増え、3月23日で47世帯137人になったそうです。現在は、戻ったり、仮設に入ったたり、新しい所に移って、15世帯29人にまでなりました。この避難所には、「ご支援をありがとうございました。この避難所には、「ご支援を(合唱団)で活躍され



う」と大きく書かれていて、支援している団体、個人のお名前が大きく張り出されていきました。ちょうど伺ったのは、午後3時で、物資(野菜やおにぎりなど)の受け渡しの際で、多くの方々が集まっておられました。その帰り道、臼井先生の小学校からの



↑東京純福音教会の天野先生方がふとん 150、その他、たくさんの物資を持って来ていただきました。岩淵まこと先生と音楽伝道をされている学校のスタッフとのこと。



↑気仙沼教会執事の花山修一さん。奥様の朝代さんは、臼井先生とは国民学校の同級生。



↑20日、花山さんと島山しずゑさんを訪問。川口町にお住まいでしたが、家を流されてしまいましたが、すぐ、家を借りることができました。↓19日、宮崎のちの水キリスト教会牧師野中睦久先生(写真右端)がたくさんの救援物資を運んでくださいました。花山潔子さんと一緒に。花山さんは、この後始まる無料バザールのご奉仕にいらっやいました。

